

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

栃木県各自治体へ 3年ぶりの表敬訪問

国際協力機構(JICA)は、2022年度1次隊として、7～8月中に栃木県から3名のJICA海外協力隊員を派遣いたします。任国への出発を前に、下記のとおり栃木県知事及び市長を表敬訪問いたします。新型コロナウイルスの影響で中止となっていたため、出発前の表敬は2019年11月以来約3年ぶりの実施です。貴社媒体にて、栃木県のJICA海外協力隊員を県民の皆様にご紹介いただけましたら誠に幸甚です。

2. 表敬訪問日程

(敬称略)

表敬先	日時・場所	表敬者
栃木県 知事 福田 富一	2022年7月12日(月) 11:00～11:15 知事室	同県 JICA 海外協力隊員 3名
宇都宮市 市長 佐藤 栄一	2022年7月26日(火) 11:30～11:45 市長室	沼野 彩香
足利市 市長 早川 尚秀	2022年7月20日(水) 11:00～11:15 市長室	中里 大介 林 健司

3. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	沼野 彩香	障害児・者支援	スリランカ	北西部州 社会福祉局
【活動内容と抱負】 北西部州の社会福祉局に所属し、州内の障害児の通園施設や職業訓練施設を巡回し、ニーズ調査や現地の教員や親に対して指導助言などを行う予定です。活動をしていく中で、現地の人とたくさん関わり信頼関係を築き、スリランカと日本の友好的な関係を続けていく一助となれればと考えています。				
青年海外協力隊	中里 大介	コミュニティ 開発	マダガスカル	アンチラベ農業 機械製造・研修 センター
【活動内容と抱負】 マダガスカルでは農業機械の普及に携わる予定です。動力の無い作業機の普及で現地の農家の生産性向上を目指します。今まで学んできたことを活かせる考えるととても楽しみです。今までの経験だけでなく、現地の考え方もうまく織り交ぜながら持続可能な農業機械の普及に取り組んでいきたいです。				

海外協力隊	林 健司	理科教育	カンボジア	コンポンスプー州小学校教員養成校
【活動内容と抱負】 カンボジア首都プノンペンからバス1、2時間のコンポンスプー州にある小学校教員養成学校にて、近い将来教員になる学生に理科の授業を行います。これまでの中学校教員7年間の中で、もっとも熱を込めてやってきたのが授業です。自分の経験に自信を持って取り組む一方で、謙虚に活動をしたい。「日本人」として活動するが、一人の人間として精一杯現地の人と向き合いたいと考えています。				

4. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府のODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ20歳～69歳の方が対象となり、派遣期間は原則2年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 栃木デスク 熊倉 百合子 TEL : 028-621-0777 (栃木県国際交流協会内) E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp